

農産物の残留農薬検査結果(令和7年7月～8月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和7年7月から8月に医療局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、7月にばれいしょ8検体、にんじん7検体、きゅうり及びなす各4検体、えだまめ、すいか及びピーマン各1検体の計26検体、8月になす5検体、かんしょ、きゅうり、こまつな、とうがん、にんじん及びばれいしょ各1検体の計11検体、合計で37検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。きゅうり2検体、こまつな、なす及びばれいしょ各1検体から延べ6項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものではありませんでした。

検査項目及び検出限界については、表2に示しました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果

(令和7年7月～8月)

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
えだまめ	1	0			
かんしょ	1	0			
きゅうり	5	1	クロルフェナピル	0.10	0.5
		1	ジノテフラン	0.02	2
こまつな	1	1	ジノテフラン	0.07	10
			メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	1
すいか	1	0			
とうがん	1	0			
なす	9	1	アゾキシストロビン	0.03	3
にんじん	8	0			
ばれいしょ	9	1	チアメトキサム	0.01	0.3
ピーマン	1	0			

注) 中括弧()は同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物						農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					
		A	B	C	D	E	F			A	B	C	D	E	F
BHC (α , β , γ 及び δ の和)	0.005	○	—	○	—	○	○	エンドリン	0.005	○	—	—	—	○	—
DDT (DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	○	カルプロバミド	0.01	○	○	○	○	—	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	—	○	クミルロン	0.01	○	○	○	○	○	○
アセフェート	0.01	○	○	○	○	○	○	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	—	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	—	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	○	クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	○
エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	クロロクシロン	0.01	○	○	○	○	○	○
エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	○	○	シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	○	○
エボキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	○
エンドスルファン (α 及び β の和)	0.005	○	○	○	○	○	○	シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	○

表2 (続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物						農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					
		A	B	C	D	E	F			A	B	C	D	E	F
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	○	フェンブプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○	○	ブプロフェジシ	0.01	○	○	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	—	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	プロバホス	0.01	○	○	○	○	—	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	○	—	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○	○
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○	○
ビリダベン	0.01	○	○	○	○	○	○	ミクロブタニル	0.01	○	○	○	○	○	○
ビリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	○	—	○
ビリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○	○
ビリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	○	○
ビリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	—	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	○	○	リニュロン	0.01	○	○	○	○	○	○
フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	○	○	○
フェントロチオン	0.01	○	○	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	○	○	○	○	○	○
フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	○	○
フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○	○								

農産物の種類 A:こまつな、にんじん、ピーマン B:とうがん、なす C:かんしょ、ばれいしょ
D:きゅうり E:えだまめ F:すいか

○:実施、—:実施せず

*DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】